

岩手医科大学歯学雑誌<和文・英文>投稿規定とその手引き(2018年4月)

<和文>

1. 本会誌の内容は、総説、原著(研究、症例報告、短報)、予報、トピックス、集会記録、雑報、レクチャーなどとする。
2. 著者は本学会の会員であることが望ましいが、本学会員以外のものであっても著者として加えることができるものとする(共同著者の臨時会員としての会費は別に定める)。なお、編集委員会は本学会の目的に沿う原稿を会員外にも依頼することができる。依頼論文の場合は、著者が本学会員以外の場合であっても、上記の限りではない。
3. 原稿の内容は医の倫理に反しないものであること。人(ヒト)を対象とする研究(観察疫学研究、臨床統計研究等を含む)はヘルシンキ宣言の主旨に沿ったものとし、所属機関の倫理委員会の承認を得なければならない。組換えDNA実験については所属機関の組換えDNA実験指針等に準拠し組換えDNA実験安全委員会の承認を得なければならない。動物実験については、所属機関の動物実験指針等に準拠し動物実験委員会の承認を得なければならない。
4. 利益相反について

基礎研究ならびに臨床研究(症例報告を含む)では、参考文献の前に「利益相反」という見出しを作り、公表すべき利益相反の事実がない場合にはその旨を明記すること。

5. 原稿の採否は査読者の意見を参考にして編集委員会で決定する。委員会は原稿の変更を著者に求めることができる。査読の手順は別途定める。
6. 原稿はA4版の白紙にMS Word文書で作成する。図表も含めて完全なコピーを3部添えること。カラー写真は所見が分かればカラーコピーでもよい。見出しはゴシック12ポイント、その他は明朝体12ポイント、余白は上35mm、下30mm、左右30mmとし、一行を35文字、1ページ16行程度でダブルスペース相当の行間をあけてプリントする。なお、この際、行番号を挿入する。

抄録等の英文原稿はA4版の白紙に和文と同様の余白をとり、原稿はTimes, Times New Romanなどの一般的なフォントを12ポイントで用いて十分な行間(ダブルスペース)をとること。

紙媒体の原稿に加え、電子ファイル[原稿はMS Word, 図はTIFFあるいはJPEG画像(300dpi

以上を推奨)など]をCD-R, またはUSBメモリに記録し提出すること。ただし、依頼論文の場合には著者の利便性を考慮し、電子ファイルのみによる投稿も認める。

7. 論文の構成は、表紙、抄録(英文・和文)、緒言、材料/対象・方法、結果、考察、謝辞、利益相反、文献、図(写真)・表の説明文、図・表の順とする。
8. 原著原稿には目的、方法、結論を明確に示す200語程度の英文抄録とこれに対応した800字以内の和文抄録を付ける。全ての論文には3~5項目の英語によるKey wordsを添え、30字以内のランニングタイトルをつけること。
9. 図、表には日本語の説明文をつける。
10. 原著原稿は13,000字(文献を含む)以内とし(約8印刷ページ)、図表は総計15枚以内とする。
11. 原著論文の場合、研究は9印刷ページ、症例報告は4印刷ページまでは本学会が費用を負担する。ただし、その中の図表の部分については一部著者負担とする。カラー写真、トレース、特殊な材料や方法を用いた場合は著者が負担する。別刷は50部まで無料(ただし、8印刷ページを越える分は実費)とする。
12. 総説の書式については、必要に応じセクションや見出しを設定する。論文の長さや掲載料については11.原著論文に準ずるものとする。
13. 短報: 独創的な研究業績で、そのプライオリティを確保するために速かに公表する必要がある場合は短報として投稿することができる。図表などを含めて6,500字以内(4印刷ページ)とする。ただし、その中の図表の部分については一部著者負担とする。カラー写真、トレース、特殊な材料や方法を用いた場合は著者が負担する。別刷は50部まで無料(ただし、4印刷ページを越える分は実費)とする。
14. レクチャーおよびトピックス: 最近学会などで話題になったものやエッセンスで気楽に会員が読めるもの。レクチャーは編集委員会が依頼したもので字数制限はなく、トピックスについては2,000字以内にまとめること。
15. 集会記録: 総会、例会、談話会などにおける講演、発表の抄録などを掲載する。
16. 原稿とは別に投稿票とチェック票を添えること。投稿票に必要事項を記入し、チェック票は著者自

ら各項目にチェックを記入して原稿の正確性を期すこと。チェック項目不備の原稿は受け付けない。投稿票とチェック票は事務局に請求すること。

17. 原稿は次の要領に従って書くこと。

1) 冒頭を表紙とし、次の順序で各項を記載すること。

和文標題・著者名、英文標題・著者名、ランニングタイトル (30 字以内)、和文所属機関名・所属機関の主任者名、英文所属機関名・所属機関主任者名、和文所属機関住所・英文所属機関住所の順に記載する。共著者が別の機関 (講座など) に所属するときは、機関ごとに項目を分けて書き、さらにその下に所属機関の住所を和英両文で記す。所属機関名は必ず公式の名称を用いること。そのほか特に脚注が必要なきも下の方に記入する。英文もこれに準ずる。学会で発表したことについては本文末尾に記入すること。

2) 和文はひらがなまじりで新かなづかひの口語文章体 (…である) とし、専門用語以外の日用語は当用漢字で新かなづかひを用いること。学術用語は日本歯科医学会編の日本歯科医学会学術用語集あるいは日本医学会編の医学用語辞典 (和英、英和) を参考とする。また、身体各部を表す用語は日本解剖学会用語 (日本解剖学会編、最新版) に準ずること。薬品名などは商品名ではなく一般名を用い、略語は初出時に何の略かを明記しておくこと。

3) 仮名づかひ、送り仮名については、岩波「現代用字辞典」を参照のこと。次のような代名詞、接続詞、副詞、助動詞などはひらがなで書くこと。或いは、如何に、於いて、に拘らず、且つ、する事、する毎に、然し、即ち、全て、総て、其等、但し、の為に、就いては、出来る、～する時、と共に、夫々、何故、～等、殆ど

4) 数量を示す場合はアラビア数字を用い (150 mg, 1 部), 不確定数詞には漢字を用いる (二三の, 二三十人, 数百メートル, 一部分)。

5) 単位は SI 基本単位に準じ、記号のあとにピリオドは打たない。km, cm, mm, μ m, nm, pm; l, dl, ml, μ l; kg, g, μ g, pg, …; % (重量百分率), Vol %, mM, N/10, ppm, ppb, mEq/l; hr, min, sec; 37°C, Gy, Bq…

6) 英語の場合は固有名詞と文頭を除き頭文字は小文字で始める。動植物や微生物の学名やラテン語はイタリックとする。外国人名は原則として欧文を用いる。

7) 緒言、材料/対象・方法、結果、考察、結語、謝辞、文献などの見出しはゴシック体とし、それぞれ内容の区分記号は 1. 2. 3. …, 1) 2) 3) …, (1) (2) (3) …, ① ② ③ …, a. b. c. …, a) b) c) …, (a) (b) (c) …の順とする。

8) 図表の挿入箇所は本文に図 3, 表 5 のように示す。写真も図の中に入れ、写真 (Plate) という項は作らない。

9) 図表は本文の最後に別の紙に書いてまとめ、写真は氏名、付図番号、天地および縮小率の指示などを記入しておく。倍率は最終印刷時の拡大率を示すが、希望通りの倍率にならないこともある。写真の印刷時の大きさは、1/2 段に入れるときは横 6.8 cm, 1 段抜きで入れるときは横 14 cm が最大幅になる。

10) 文献は、引用箇所の右肩に引用順に番号をつけ (…¹⁾, …³⁾ ~⁵⁾), 本文末に引用順にまとめること。

本文中の引用は、著者が 3 名以上のときは 1 名だけの姓と…ら, または…, et al. とする。文献欄には共著者全員の名前を書く。

(1) 雑誌; 略名は医学中央雑誌収載誌目録 (医学中央雑誌刊行会 最新版), List of Journals Indexed in Index Medicus (National Institutes of Health National Library of Medicine) を参照のこと。

番号) 著者名: 標題. 掲載誌名, 巻: 引用ページ (最初のページ-最後のページ), 発行年. と記載する。

例: 盛岡岩雄: 舌癌の転移に関する研究, 岩医大歯誌, 20: 270-283, 1995.

Maiden, M. F. J., Tanner, A., and Macuch, P. G.: Rapid characterization of periodontal bacterial isolates by using fluorogenic substrate tests. J. Clin. Microbiol., 32: 376-384, 1996.

未発表の論文は本文中に記載するにとどめ、文献欄には入れない。現在、印刷中のものは入れてよい。投稿中でまだ採否不明のものは未発表のものと同じ。

(2) 単行本; 番号) 著者名: 書名. 版数, 書店名, 発行地, 引用ページ (最初のページ-最後のページ), 発行年. または, 番号) 著者名: 標題, 編者名: 書名. 版数, 書店名, 発行地, 引用ページ (最初のページ-最後のページ), 発行年. とする。

例: Koneman, E. W., Allen, S. D., Janda, W. M., Schreckenberger, P. C., and Winn, W. C. Jr. :

Color Atlas and Textbook of Diagnostic Microbiology. 4th ed., J. B. Lippincott Co., Philadelphia, pp431-466, 1992.

江藤一洋：発生・成長・老化，坂田三弥，中村嘉男 編集：基礎歯科生理学，第 2 版，医歯薬出版，東京，258-266 ページ，1994.

翻訳書の例：Carranza, F. A. Jr., ed.; 原 耕二ほか訳，グリックマン臨床歯周病学，第 6 版，西村書店，新潟，212-236 ページ，1984：Glickman's Clinical Periodontology; 6th ed., W. B. Saunders Co., Philadelphia, 1954.

- (3) ウェブサイト中の記事：著者名：“ウェブページの題名。” ウェブサイトの名称・更新日付・入手先，（入手日付）。

例：中央教育審議会。“教育振興基本計画について－「基本立国」の実現に向けて－（答申）。” 文部科学省，2008-04-18.

http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/0/toushin/08042205.htm, (参照 2008-08-13).

11. 原稿を送るときは，投稿票，チェック票，標題ページ，英文抄録，和文抄録，本文，文献，図表の説明文，図・表の順に封筒に入れること。
18. 校正は「著者の責任校正」とし，誤植などの必要最小限の訂正のみにとどめ，加筆修正は原則として認めない。
19. 本誌に掲載された論文の著作権（著作財産権，Copyright）は本学会に帰属する。
20. 原稿ならびに電子媒体の送付先
〒020-8505 岩手県盛岡市中央通 1 丁目 3-27 岩手医科大学歯学部内 岩手医科大学歯学雑誌編集委員会に「和文原稿在中」と朱書して書留で送付すること。

<英文>

1. 著者は本学会の会員であることが望ましいが，本学会員以外のものであっても著者として加えることができるものとする（共同著者の臨時会員としての会費は別に定める）。なお，編集委員会は本会の目的に沿う原稿を会員外にも依頼することができる。依頼論文の場合は，著者が本学会員以外の場合であっても，上記の限りではない。
2. 原稿の内容は医の倫理に反しないものであること。人（ヒト）を対象とする研究（観察疫学研究，臨床統計研究等を含む）はヘルシンキ宣言の主旨に沿ったものとし，所属機関の倫理委員会の承認を得なければならない。組換え DNA 実験について

は所属機関の組換え DNA 実験指針等に準拠し組換え DNA 実験安全委員会の承認を得なければならない。動物実験については，所属機関の動物実験指針等に準拠し動物実験委員会の承認を得なければならない。

3. 利益相反について

基礎研究ならびに臨床研究（症例報告を含む）では，参考文献の前に「利益相反」という見出しを作り，公表すべき利益相反の事実がない場合にはその旨を明記すること。

4. 原稿の採否は査読者の意見を参考にして編集委員会で決定する。委員会は原稿の変更を著者に求めることができる。査読の手順は別途定める。
5. 論文の種類は，Full paper（一般研究論文），Communication（短報），Review（総説）ならびに Case report（症例報告）とする。

1) Full paper（一般研究論文）は Title page, Abstract（英単語数で 200 を超えない），Introduction（見出しは不要），Materials and Methods, Results, Discussion（Results & Discussion も可とする），Acknowledgements, References, Tables, Figure Legends, Figures という順に構成すること。原稿は単語数 7,000 程度（約 8 印刷ページ）を目安とし，図表は総計 15 枚以内とする。刷り上がりは 9 印刷ページまでは本学会が費用を負担する。ただし，その中の図表の部分については一部著者負担とする。カラー写真，トレース，特殊な材料や方法を用いた場合は著者が負担する。別刷は 50 部まで無料（ただし，8 印刷ページを越える分は実費）とする。

2) Communication（短報）は，単語数 3,500 程度（刷り上がり 4 ページ）の長さを目安に，原稿は Full paper に準ずる。ただし，その中の図表の部分については一部著者負担とする。カラー写真，トレース，特殊な材料や方法を用いた場合は著者が負担する。別刷は 50 部まで無料（ただし，4 印刷ページを越える分は実費）とする。しかし，単に短い論文というわけではなく，意外性やオリジナリティの非常に高い内容だが Full paper とするには時間がかかるため，いち早く発表するものとする。

3) Review（総説）の書式等については，必要に応じセクションや見出しを設定する。論文の長さや掲載料については 1) Full paper に準ずるものとする。

4) Case report（症例報告）の長さや掲載料につ

いては2) Communication に準ずるものとする。

- 5) その他, 集会記録や談話会などにおける講演について掲載希望があれば, 原稿の長さや掲載料について本誌編集部事務局に問い合わせること。

原稿は A4 版の白紙に MS Word 文書で作成する。図表も含めて完全なコピーを3部添えること。カラー写真は所見が分かればカラーコピーでもよい。紙媒体の原稿に加え, 電子ファイル [原稿は MS Word, 図は TIFFF あるいは JPEG 画像(300dpi 以上を推奨) など] を CD-R, または USB メモリに記録し提出すること。ただし, 依頼論文の場合には著者の利便性を考慮し, 電子ファイルのみによる投稿も認める。原稿は Times, Times New Roman などの一般的なフォントを 11-12 ポイントで用いて十分な行間(ダブルスペース)とし, 各頁の上下左右には十分な余白を設ける。各パラグラフの最初は 3-5 文字下げで始める。タイトル頁には, タイトル, 著者名, 所属, 100 字以内(スペースを含む)の短いタイトル(Running title), 代表著者(Corresponding author)の連絡先を記載すること。また, タイトル頁から始まる頁番号を付与する。なお, 投稿前に十分な英文校正を著者負担で行い, 投稿にあたっては英文校正証明書を添付すること(英文校正が適切に実施されたことわかるメールあるいは書簡のやり取りのコピーでも可とする)。

6. 単位の標記は和文投稿規定に準ずる。
7. 文献の引用は和文投稿規定に準ずる。
8. 図表の作成については, 和文投稿規定に準ずる。
9. 原稿を送るときは, 投稿票, チェック票, 標題ページ, 英文抄録, 本文, 文献, 図表の説明文, 図・表の順に封筒に入れること。
10. 校正は「著者の責任校正」とし, 誤植などの必要最小限の訂正のみにとどめ, 加筆修正は原則として認めない。
11. 本誌に掲載された論文の著作権(著作財産権, Copyright)は本学会に帰属する。
12. 原稿ならびに電子媒体の送付先

〒020-8505 岩手県盛岡市中央通1丁目3-27 岩手医科大学歯学部内 岩手医科大学歯学雑誌編集委員会に「英文原稿在中」と朱書して書留で送付すること。